



学校教育目標

「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

浜小だより

11月号

NO. 〇

茅ヶ崎市立浜須賀小学校 TEL 85-1184

平成29年10月31日 校長 柴山 比都美



修学旅行は、台風18号に、キャンプは、台風21号の影響を。

雨が降る中、5年生のキャンプ出発となりました。しかし、誰からも「こんな日にキャンプになって行きたくないよ。」などというマイナスな言葉は出ません。心はもうキャンプ場です。はま寿司さんのご厚意により駐車場をお借りすることができ、バスの中からこやかに手を振る子どもたちを駐車場で見送りました。5年生は、とても元気な子どもたちです。ぬかるんでいるキャンプ場を駆け回って、怪我をするのではないかと心配しましたが、大きな怪我もなく無事終えることができました。

付き添いの先生からは、「普段見せない、普段見えない子どもたちの顔や取り組む姿を見ることができました。」と話を聞きました。キャンプの実行委員を中心に子どもたちの手によるキャンプを作り上げることができました。炊事では「来た時よりもきれいに」という心構えで、釜のススを一生懸命取ろうと頑張っている姿や流しの排水溝の網に残ったごみをきれいに片づけている姿が見られました。キャンドルファイヤーでは、思うようにいかない部分もあったようですが、「みんなで盛り上げよう」という心構えが十分に伝わってくる参加の姿だったことを聞きました。キャンプという体験活動を通して、自分たちで考え、自分たちで作るキャンプ、天候の悪く、自然と戦い、自然に癒され、みんなで協働し大切なことをいろいろ学んだキャンプでした。良い思い出ができました。

学校へ行こう週間。PTAの皆さん ありがとうございます。

先週の学校へ行こう週間中の土曜参観では、たくさんの保護者の皆さんが、足を運んでくださいました。受付、駐輪場警備をはじめ雨が心配される中、雨が降った時用の対応を考え動いてくださる PTA 本部の皆さん、はまサポの皆さんです。傘袋、長靴で来られた方用のブルーシートの長靴置き場、受付場所も3カ所に増やし、職員玄関の混雑を考え対応に当ててくださいました。1、2校時に行った3年生の地域学習の授業でも、PTAの皆さんがサポートしてくださいました。ありがとうございます。11月2日まで学校へ行こう週間となっています。引き続きご協力のほど、よろしくお願いします。



子どもたちの真剣に
学ぶ姿がありました

10月は地域行事で地域の皆さんと関わり、
授業では外部講師の
皆さんから学びました。



福祉教育出前授業 ちょっとした段差も怖いですね。



アイマスク誘導體験



10月4日、社会福祉協議会の福祉教育出前授業に4年生が取り組みました。地域には、いろいろな方がお住まいで、障害のある方や高齢者の方もいらっしゃいます。たくさんの方と関わることで相手の気持ちに寄り添ったり、共感したり、自分の気持ちを表現することにより、自分を取り巻く世界が変わります。しかし、電車で席を譲ることも、子どもたちにとっては勇気があることです。困っている方に手を差し伸べたいと思っても、どのようにしたらよいのか分からない、困っていることさえも分からないのかもしれない。点字体験やアイマスク誘導體験を通して視覚障害理解を図りました。人に対する子どもたちのこれからの言葉がけや行動が変わることでしょう。

3年生、パパボラさんによる地域学習

パパボラさんのお父さんたちが、故・三橋卯之助さんの絵画を使い3年生の地域学習授業をやってくださいました。三橋卯之助さんは、南湖に大正4年に生まれ、関東大震災や戦争を体験されました。その体験や茅ヶ崎の様子を模造紙約400枚に描かれ茅ヶ崎の歴史を子どもたちに授業で伝えてくださいました。私も西浜小学校に勤務していた頃、卯之助さんのお話を何度か聞かされ、また、5年生を担当していた時、茅ヶ崎の漁業で絵をお借りし社会科の授業を行ったことがあります。

この日は、①浜須賀小学校、地域の今と昔②戦争のお話(コロネット作戦)③茅ヶ崎の漁業④震災と避難生活等、4つの教室を使い、2時間をかけ全部のお話を交代で聞きました。

本校を卒業されたお父さん方が小学生時代を語ってくださいました。今と昔を比べて、当時をお話してくださいました。コロネット作戦では、アメリカ軍が茅ヶ崎海岸に上陸する予定でした。終戦になれば、茅ヶ崎はどうなっていたのでしょうか。昔、茅ヶ崎の海岸では、毎日ブリが1万本も獲

れていたそうです。関東大震災では、八雲神社に避難し蚊が多く寝られないので、家から蚊帳を運び出し吊って、その中で2～3日寝たそうです。子どもたちは、音楽室に吊られた蚊帳に入って蚊帳を体験しました。

絵があることでお話がよく分かります。茅ヶ崎の昔を知ることのできる貴重な財産です。今年は、本校の50周年です。学校や地域、茅ヶ崎市の昔を振り返ることができました。自分の住んでいる地域や茅ヶ崎に愛着を持ってくれたらと思います。

パパボラさん、ありがとうございました。



ホノルル給食に服部市長さんが来校

平成26年10月24日に茅ヶ崎市とアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市が姉妹都市となりました。この24日前後に各学校では、ハワイやホノルルにちなんだ給食が実施されています。本校の24日のメニューは、モチコチキン。鶏肉をもち粉で揚げたもので、日系人から広まったハワイで人気のローカルフードです。ホノルル給食を実施した浜須賀小学校に茅ヶ崎市長さんが来校され、6年3組で児童と一緒に給食を食べられました。市長さんは、男子ばかりのグループに入れ、「昔、スポーツは何をしていましたか。」「ハワイまで何時間かかりますか」等、子どもたちの質問攻めにあわれていました。楽しいひとときでした。



浜館まつりで大活躍。仲よしの出店、ダンスクラブ、演劇クラブの発表。4年生の新聞展示。創意工夫研究作品展示。PTAの活動報告。



10月21日(土)は、市内の3校が運動会を予定していましたが、台風21号で次の水曜日まで延期を決めた日でした。しかし、浜館まつりは、台風なんて何のその決行となりました。この日のための準備は、どこも大変だったことでしょう。特に食べ物を用意しているところにとっては、中止だけは避けたいところです。しかし、びっくりするのは、その来客の数です。雨にもかかわらず、館内も外も満員です。



仲よし級は、収穫したサツマイモ、ニンニク、手作りのクッキー、お皿等たくさんの種類の品物を用意していました。大繁盛で上々の売れ行きで、お金の計算や呼び込みに大忙しでした。ダンスクラブは、激しい動きや今どきの動きに、子どもたちはノリノリで、大いに盛り上がりました。演劇クラブは、「白雪姫」ですが、かなりのアレンジです。会場は、笑いでいっぱいでした。



4年生の学習新聞は、見学して学んだことが丁寧にしっかりと書かれていました。夏休みの創意工夫研究作品は、たくさんの人に見てもらえ、来年に向けて励みになりました。

